



コンテンツID：IPJP019000001

▶ 正式名称	東大寺 戒壇院（かいだんいん） 戒壇堂（かいだんどう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	戒壇堂	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	慧光長老（えこうちやうろう）	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	享保十八年（1733） 落慶	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／江戸時代／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	戒壇 受戒 授戒 戒律 鑑真 四天王像 広目天		
▶ 被写体所有者備考	【県指定文化財】 桁行三間 梁行三間 一重裳階付 寄棟造 本瓦葺。幅16m、奥行13m。伝戒の師として我が国に招請された鑑真和上（がんじんわじょう）は天平勝宝五年（753）に来日、翌六年東大寺に入り、四月に大仏殿前庭に戒壇を設け、そこで聖武太上天皇（だじょうてんのう）・光明皇太后（こうたいごう）・孝謙天皇の他、沙弥（しゃみ）430人余に授戒した。そしてこの戒壇の土を大仏殿西方の地（現在地）に移して戒壇院が創建されたのはさらに翌年の天平勝宝七年（755）と伝える。国家による正式な受戒道場として戒壇院は整備され、金堂（戒壇堂）の他に講堂・僧房・食堂（じきどう）・廻廊の諸堂宇が並び、独立した伽藍の体裁を成していた。しかし治承四年（1180）・文安三年（1446）・永禄十年（1567）の三度にわたり焼失し、現在の戒壇堂は、江戸時代に入り慧光（えこう）長老により享保十八年（1733）に再建されたものである。堂内には受戒儀礼の場となる三重の土壇＝戒壇があり、その壇上中央には多宝塔が安置され、その四隅には天平期の塑像の四天王立像が安置されている。		



コンテンツID：IPJP019000002

正式名称	東大寺 戒壇院四天王像（かいだんいんしてんのうぞう） 広目天立像（こうもくてんりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	広目天立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	不詳	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度	正面 全身		
キーワード	四天王像		
被写体所有者備考	【国宝】 東大寺戒壇院の壇上四隅に立つ四天王像のうち、北西隅にて巻物を持つ広目天立像。像高162cm。		



コンテンツID：IPJP019000003

➤ 正式名称	東大寺 戒壇院四天王像（かいだんいんしてんのうぞう） 広目天立像（こうもくてんりゅうぞう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	広目天立像	➤ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
➤ 被写体製作者	不詳		
➤ 被写体製作年	不詳	➤ 被写体所有者	東大寺
➤ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	➤ 分類	仏像
➤ 撮影年月日		➤ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
➤ 撮影角度	正面 上半身		
➤ キーワード	四天王像		
➤ 被写体所有者備考	【国宝】 東大寺戒壇院の壇上四隅に立つ四天王像のうち、北西隅にて巻物を持つ広目天立像。像高162cm。（上半身）		



コンテンツID：IPJP019000004

正式名称	東大寺 戒壇院四天王像（かいだんいんしてんのうぞう） 持国天立像（じこくてんりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	持国天立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	不詳	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	四天王像		
被写体所有者備考	【国宝】 東大寺戒壇院の壇上四隅に立つ四天王像のうち、東南隅にて剣を持つ持国天立像。像高160cm。		



コンテンツID：IPJP019000005

正式名称	東大寺 戒壇院四天王像（かいだんいんしてんのうぞう） 持国天立像（じこくてんりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	持国天立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	不詳	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	四天王像		
被写体所有者備考	【国宝】 東大寺戒壇院の壇上四隅に立つ四天王像のうち、東南隅にて剣を持つ持国天立像。像高160cm。（上半身）		



コンテンツID：IPJP019000006

正式名称	東大寺 戒壇院四天王像（かいだんいんしてんのうぞう） 増長天立像（ぞうちょうてんりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	増長天立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	不詳	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	四天王像		
被写体所有者備考	【国宝】 東大寺戒壇院の壇上四隅に立つ四天王像のうち、西南隅にて槍を携えて立つ増長天立像。像高165cm。		



コンテンツID：IPJP019000007

➤ 正式名称	東大寺 戒壇院四天王像（かいだんいんしてんのうぞう） 増長天立像（ぞうちょうてんりゅうぞう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	増長天立像	➤ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
➤ 被写体製作者	不詳		
➤ 被写体製作年	不詳	➤ 被写体所有者	東大寺
➤ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	➤ 分類	仏像
➤ 撮影年月日		➤ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	四天王像		
➤ 被写体所有者備考	【国宝】 東大寺戒壇院の壇上四隅に立つ四天王像のうち、西南隅にて槍を携えて立つ増長天立像。像高165cm。（上半身）		



コンテンツID：IPJP019000008

正式名称	東大寺 戒壇院四天王像（かいだんいんしてんのうぞう） 多聞天立像（たもんでんりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	多聞天立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	不詳	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	四天王像 毘沙門天		
被写体所有者備考	【国宝】 東大寺戒壇院の壇上四隅に立つ四天王像のうち、北東隅にて宝塔を高く掲げる多聞天立像。像高164cm。		



コンテンツID：IPJP019000009

正式名称	東大寺 戒壇院四天王像（かいだんいんしてんのうぞう） 多聞天立像（たもんでんりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	多聞天立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	不詳	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	四天王像 毘沙門天		
被写体所有者備考	【国宝】 東大寺戒壇院の壇上四隅に立つ四天王像のうち、北東隅にて宝塔を高く掲げる多聞天立像。像高164cm。（上半身）		



コンテンツID：IPJP019000010

▶ 正式名称	東大寺（本坊） 四聖御影（ししょうのみえ） 図	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	四聖御影図	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	不詳	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年		▶ 分類	書画
▶ 被写体製作時代	日本史系／南北朝時代／北山文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	【重要文化財】 東大寺の草創、とくに大仏の造立に最もゆかりの深い四人の人物、聖武天皇、良弁僧正、菩提達那（婆羅門僧正）、行基菩薩を集めて一図としたもの。筆者は明らかでないが、筆技・彩技は鎌倉期の南部絵画の特色をよく示している。本坊本は、その南北朝時代の写し。（非公開）		



コンテンツID：IPJP019000011

▶ 正式名称	東大寺 絵画 大仏縁起絵巻（だいぶつえんぎ えまき）平家南都焼き討ち（へいけなんとやきうち）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	大仏縁起絵巻 平家南都焼き討ち	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	不詳		
▶ 被写体製作年	天文五年（1536）	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作時代	日本史系／戦国時代／東山文化	▶ 分類	書画
▶ 撮影年月日		▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	【重要文化財】 東大寺大仏縁起には、治承4年12月28日の平家による南都焼き討ちで、大仏とともに炎に包まれ逃げ惑う人々の姿が生々しく描かれている。		



コンテンツID：IPJP019000012

▶ 正式名称	東大寺 観音堂（かんのんどう） 二月堂（にがつどう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	二月堂	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	実忠和尚（じっちゅうかしょう）※但し創建についての寺伝。	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	寛文九年（1669）	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／江戸時代／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	実忠和尚（じっちゅうかしょう） 修二会 お水取り 十一面観音		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 桁行十間 梁行七間寄棟造 本瓦葺。幅22m、奥行27m。寺伝では天平勝宝四年（752）、実忠和尚（じっちゅうかしょう）により創建された。同年実忠により創始された十一面悔過（じゅういちめんけか）の行法（ぎょうぼう）が修二会（しゅにえ）として旧暦二月に行われることから「二月堂」と称されるようになった。二月堂は治承四年（1180）の平重衡（たいらのしげひら）による焼討ち、永禄十年（1567）の三好・松永の兵火にも焼失を免れたが、寛文七年（1667）修二会の最中、失火により焼失してしまった。しかし徳川幕府により同九年（1669）再建された。ご本尊は大観音（おおがんのん）と小観音（こがんのん）と呼ばれる2体の十一面観音で絶対の秘仏である。小観音は実忠和尚が感得された生身（しょうじん）の仏と伝わる。修二会は天平勝宝四年（752）に創始されて以来、一度も途絶えたことのない「不退（ふたい）の行法」として現在でも二月堂において行われている。		



コンテンツID：IPJP019000013

正式名称	東大寺 観音堂（かんのんどう） 二月堂（にがつどう）	写真タイトル	
通称名称	二月堂	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	実忠和尚（じっちゅうかしょう）※但し創建についての寺伝。	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	寛文九年（1669）	分類	建築
被写体製作時代	日本史系／江戸時代／－	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	実忠和尚（じっちゅうかしょう） 修二会 お水取り 十一面観音		
被写体所有者備考	【国宝】 桁行十間 梁行七間寄棟造 本瓦葺。幅22m、奥行27m。寺伝では天平勝宝四年（752）、実忠和尚（じっちゅうかしょう）により創建された。同年実忠により創始された十一面悔過（じゅういちめんけか）の行法（ぎょうぼう）が修二会（しゅにえ）として旧暦二月に行われることから「二月堂」と称されるようになった。二月堂は治承四年（1180）の平重衡（たいらのしげひら）による焼討ち、永禄十年（1567）の三好・松永の兵火にも焼失を免れたが、寛文七年（1667）修二会の最中、失火により焼失してしまった。しかし徳川幕府により同九年（1669）再建された。ご本尊は大観音（おおがんのん）と小観音（こがんのん）と呼ばれる2体の十一面観音で絶対の秘仏である。小観音は実忠和尚が感得された生身（しょうじん）の仏と伝わる。修二会は天平勝宝四年（752）に創始されて以来、一度も途絶えたことのない「不退（ふたい）の行法」として現在でも二月堂において行われている。		



コンテンツID：IPJP019000014

▶ 正式名称	東大寺 観音堂（かんのんどう） 二月堂（にがつどう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	二月堂	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	実忠和尚（じっちゅうかしょう）※但し創建についての寺伝。	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	寛文九年（1669）	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／江戸時代／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	実忠和尚（じっちゅうかしょう） 修二会 お水取り 十一面観音		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 桁行十間 梁行七間寄棟造 本瓦葺。幅22m、奥行27m。寺伝では天平勝宝四年（752）、実忠和尚（じっちゅうかしょう）により創建された。同年実忠により創始された十一面悔過（じゅういちめんけか）の行法（ぎょうぼう）が修二会（しゅにえ）として旧暦二月に行われることから「二月堂」と称されるようになった。二月堂は治承四年（1180）の平重衡（たいらのしげひら）による焼討ち、永禄十年（1567）の三好・松永の兵火にも焼失を免れたが、寛文七年（1667）修二会の最中、失火により焼失してしまった。しかし徳川幕府により同九年（1669）再建された。ご本尊は大観音（おおがんのん）と小観音（こがんのん）と呼ばれる2体の十一面観音で絶対の秘仏である。小観音は実忠和尚が感得された生身（しょうじん）の仏と伝わる。修二会は天平勝宝四年（752）に創始されて以来、一度も途絶えたことのない「不退（ふたい）の行法」として現在でも二月堂において行われている。		



コンテンツID：IPJP019000015

▶ 正式名称	東大寺 金堂（こんどう） 大仏殿（だいぶつでん）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	金堂 大仏殿	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	公慶上人（こうけいしょうにん）	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	宝永六年（1709）落慶供養	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／江戸時代／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	公慶 徳川幕府 勸進 世界最大級の木造建築		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 桁行五間 梁行五間 一重裳階付 寄棟造 本瓦葺。高さ46m、幅57m、奥行50m。現在の太極殿は天平創建、鎌倉再建に次ぐ三代目で、幅がそれらよりも3分の2縮まっているが、現存する木造古建築としては世界最大級の規模。鎌倉再建の太極殿が永禄十年（1567）三好・松永の兵火により焼失してしまった後、約130年もの間、太極さまは露座であったが、江戸時代に入り公慶上人によって20年余りの歳月をかけてようやく再建された。天平創建の聖武天皇、鎌倉再建の重源上人の志を範に、広く一般への勸進を募る一方、徳川五代將軍・綱吉の理解をえて、太極殿再建は幕府直営事業となり、宝永六年（1709）落慶をむかえることができた。		



コンテンツID：IPJP019000016

▶ 正式名称	東大寺 金堂（こんどう） 大仏殿（だいぶつでん）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	金堂 大仏殿	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	公慶上人（こうけいしょうにん）	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	宝永六年（1709）落慶供養	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／江戸時代／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	公慶 徳川幕府 勸進 世界最大級の木造建築		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 桁行五間 梁行五間 一重裳階付 寄棟造 本瓦葺。高さ46m、幅57m、奥行50m。現在の太極殿は天平創建、鎌倉再建に次ぐ三代目で、幅がそれらよりも3分の2縮まっているが、現存する木造古建築としては世界最大級の規模。鎌倉再建の太極殿が永禄十年（1567）三好・松永の兵火により焼失してしまった後、約130年もの間、太極さまは露座であったが、江戸時代に入り公慶上人によって20年余りの歳月をかけてようやく再建された。天平創建の聖武天皇、鎌倉再建の重源上人の志を範に、広く一般への勸進を募る一方、徳川五代將軍・綱吉の理解をえて、太極殿再建は幕府直営事業となり、宝永六年（1709）落慶をむかえることができた。		



コンテンツID：IPJP019000017

▶ 正式名称	東大寺 金堂（こんどう） 大仏殿（だいぶつでん）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	金堂 大仏殿	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	公慶上人（こうけいしょうにん）	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	宝永六年（1709）落慶供養	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／江戸時代／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	公慶 徳川幕府 勸進 世界最大級の木造建築		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 桁行五間 梁行五間 一重裳階付 寄棟造 本瓦葺。高さ46m、幅57m、奥行50m。現在の太極殿は天平創建、鎌倉再建に次ぐ三代目で、幅がそれらよりも3分の2縮まっているが、現存する木造古建築としては世界最大級の規模。鎌倉再建の太極殿が永禄十年（1567）三好・松永の兵火により焼失してしまった後、約130年もの間、太極さまは露座であったが、江戸時代に入り公慶上人によって20年余りの歳月をかけてようやく再建された。天平創建の聖武天皇、鎌倉再建の重源上人の志を範に、広く一般への勸進を募る一方、徳川五代將軍・綱吉の理解をえて、太極殿再建は幕府直営事業となり、宝永六年（1709）落慶をむかえることができた。		



コンテンツID：IPJP019000018

▶ 正式名称	東大寺 行事 大鐘（おおがね）除夜の鐘（じょやのかね）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	大鐘 除夜の鐘	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	建永元年～承元四年（1206-1210）	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	毎年1月1日 0時～。鐘が大きいので、先着順に8名づつ程の組になり綱をひく。また、鐘は108回つくだ、800人余りの人が参加できる。東大寺の梵鐘は、総高3.86m、口径2.71m、重量26.3tあり、撞木はケヤキ造りで、長さ4.48m、直径30cm、重さ180kg、金具を入れると約200kgもある。大きな釣鐘であるところから古来東大寺では大鐘（おおがね）と呼んでいる。この大鐘をつっている鐘楼は、俊乗堂と念仏堂にはさまれた鐘楼ヶ丘と呼ばれる場所に建っているが、現在の建物は、重源上人のあとを継いで東大寺の大勧進となられた栄西（ようさい）禅師が鎌倉時代（承元年間・1207～10）に再建したもの。大鐘は天平勝宝4年（752年）に鑄造されたといわれているが、その後、延久2年（1070）10月と永長元年（1096）10月に地震のため墜落し、又延応元年（1239年）6月には龍頭が切れて転落しましたが、すぐに修理されたことが修理銘によって知られている。		



コンテンツID：IPJP019000019

▶ 正式名称	東大寺 佛生会（ぶっしょうえ）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	佛生会	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年		▶ 分類	風俗
▶ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	釈尊誕生の日とされる四月八日に、東大寺ではその降誕を祝って仏生会（ぶっしょうえ）をおこなう。法要は惣礼の後、唄（ばい）・散華（さんげ）が唱和され、散華二段で散華衆が壇上を行堂する。散華が終わると導師が表白を誦誦しますが、その中には「降誕化益の恩徳を仰ぎ、香燈梵唄の供養を飾り、五部大乘の花緒を解いて、数輩同心の転読を致す。」という言葉があり、釈尊一代の教えを五部大乘経で代表させて、その恩徳をしのぶという趣旨であると考えられる。		



コンテンツID：IPJP019000020

正式名称	東大寺 俊乗堂 重源上人坐像（しゅんじょうどう ちょうげんしょうにんざぞう）	写真タイトル	
通称名称	重源上人坐像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	（伝快慶作であるが明確でない）	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	弘安四年(1281)	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考	【国宝】 俊乗堂の本尊。肖像彫刻の白眉といわれるこの像は、快慶作と伝えられているが、確かなことは不明である。秘仏特別開扉7月5日。像高81cm。		



コンテンツID：IPJP019000021

▶ 正式名称	東大寺 大会法要 大仏開眼1250年慶讃大法要	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	大仏開眼1250年慶讃大法要	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者			
▶ 被写体製作年		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作時代	日本史系／平成／－	▶ 分類	風俗
▶ 撮影年月日		▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	大仏が天平時代の752年に開眼してから1250年になるのを祝い、「大仏開眼1250年慶讃大法要」が、2002年10月15日（火）から10月19日（土）まで行われた。		



コンテンツID：IPJP019000022

正式名称	東大寺 鐘楼（しょうろう）	写真タイトル	
通称名称	大鐘（おおがね）・奈良太郎（ならたろう） ※ただしこれらの称は鐘楼に釣られている梵鐘のこと。	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	栄西（ようさいorえいさい）禅師	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	建永元年～承元四年（1206-1210）	分類	建築
被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	梵鐘 奈良太郎 奈良八景 除夜の鐘		
被写体所有者備考	【国宝】 桁行一間 梁行一間 一重 入母屋造 本瓦葺。幅・奥行共に7.6m。【梵鐘】国宝。総高3.86m、口径2.7m、重量26.3t。鐘楼は大仏殿東方の高地、鐘楼ヶ丘に立つ。当初の鐘楼は永祚元年（989）の大風で倒壊し、その後も延久二年（1070）・永長元年（1096）・治承元年（1177）の地震でたびたび鐘が墜落したが、治承四年（1180）の兵火は免れ、現在の鐘楼は、俊乗房重源（しゅんじょうぼううちょうげん）の後を受けて、二代目の東大寺大勧進（だいかんじん）となった栄西（日本臨済宗の祖）がその在任中の建永元年～承元四年（1206-1210）に再建したものである。その後再び延応元年（1239）に鐘が落下したが、栄西の弟子で三代目東大寺大勧進であった行勇（ぎょうゆう）によって修補されている。度々の鐘の墜落をもたらした一因は、26tあまりもの膨大な鐘の重量にあると考えられるが、この荷重を支えるために、鐘楼には大仏様（だいぶつよう）にやや禅宗様（ぜんしゅうよう）を加味した様式を以って堅固な架構が施されており、それがまた見た目にも豪放な建築たらしめている。天平勝宝四年（752）に鑄造されたこの鐘は、慶長末年（1615）以前に鑄造されたものでは日本最大で、俗に「奈良太郎」として知られ、その音色の低く余韻の長いことから室町時代には「南都八景」の一つに加えられている。今でも大鐘を撞く時は、撞座の下を撞いているが、これは鎌倉時代に朝比奈三郎という大力の武将が鐘を撞いたところ、三日三晩鳴り止まなかったため、その後撞座の下を撞くようになったと伝えられている。古来東大寺ではこの鐘を大鐘（おおがね）と呼んで親しんでいる。		



コンテンツID：IPJP019000023

▶ 正式名称	東大寺 大仏殿 毘盧遮那仏（びるしゃなぶつ）（盧舎那大仏像）（るしゃなだいぶつぞう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	大仏	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	天平十五年（743）～天平勝宝四年(752)	▶ 分類	仏像
▶ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 一般に「大仏さま」と親しまれているが、正しくは、毘盧遮那（びるしゃな・ヴァイローチャナ）仏。その意味は、知恵と慈悲の光明をあまねく照らし出されている仏ということで、東大寺と関係の深い華嚴経の本尊。天平15年（743）に聖武天皇の詔によって鑄造されたもので、開眼法要は9年後の天平勝宝4年の4月。工事に携わった人の数は延べ260万人余といわれ、鑄造に使われた銅だけでも499 t、メッキに使われた金は440kgで、日本国中から集められた。右手は胸のあたりに上げて、前方に掌を向ける施無畏印（せむいいん・畏怖を取り除いて安心させる）、左手は膝の上で掌を上に向ける与願印（よがんいん・願いを与える）の説法の姿である。また、台座の蓮弁には、宇宙のありさまを描いた壮大な蓮華蔵世界の毛彫図が刻まれており、華嚴経の説く「悟りの世界」を絵に表したもので、その一部はいまに残っている。なお、尊像は像高14.98メートル、目長1.02メートル、耳長2.54メートル、顔長5.33メートル、鼻高0.50メートル、台座高3.05メートル。重さは380 tと推定される。		



コンテンツID：IPJP019000024

▶ 正式名称	東大寺 大仏殿 毘盧遮那仏（びるしゃなぶつ）（盧舎那大仏像）（るしゃなだいぶつぞう）蓮弁（れんぺん）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	大仏 蓮弁	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	天平十五年（743）～天平勝宝四年(752)	▶ 分類	仏像
▶ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 一般に「大仏さま」と親しまれているが、正しくは、毘盧遮那（びるしゃな・ヴァイローチャナ）仏。その意味は、知恵と慈悲の光明をあまねく照らし出されている仏ということで、東大寺と関係の深い華嚴経の本尊。天平15年（743）に聖武天皇の詔によって鑄造されたもので、開眼法要は9年後の天平勝宝4年の4月。工事に携わった人の数は延べ260万人余といわれ、鑄造に使われた銅だけでも499 t、メッキに使われた金は440kgで、日本国中から集められた。右手は胸のあたりに上げて、前方に掌を向ける施無畏印（せむいいん・畏怖を取り除いて安心させる）、左手は膝の上で掌を上に向ける与願印（よがんいん・願いを与える）の説法の姿である。また、台座の蓮弁には、宇宙のありさまを描いた壮大な蓮華蔵世界の毛彫図が刻まれており、華嚴経の説く「悟りの世界」を絵に表したもので、その一部はいまに残っている。なお、尊像は像高14.98メートル、目長1.02メートル、耳長2.54メートル、顔長5.33メートル、鼻高0.50メートル、台座高3.05メートル。重さは380 tと推定される。		



コンテンツID：IPJP019000025

▶ 正式名称	東大寺 大仏殿 大仏 おみぬぐい	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	大仏 おみぬぐい	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年		▶ 分類	風俗
▶ 被写体製作時代	日本史系／平成／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	120人程の僧侶や関係者が、早朝より二月堂の湯屋で身を清め、白装束に藁草履姿で大仏殿に集合、7時より撥遣作法が行われた後、全員でお経を唱え、年に一度の大仏さまの「お身拭い」を始める。現在は毎年行うが、以前は東大寺の住職の任期中に一度行われる程度。その上、大仏殿の参道が砂利道であったため、大仏殿内にはいつてくる砂埃の量も多く、掃除ではかなりの量の埃が集められたという。「お身拭い」が8月7日に日を定めて毎年実施されるようになったのは昭和39年から。その後参道も石畳で舗装され砂埃も減ったので、現在では埃の量そのものは以前よりずいぶん少なくなっている。		



コンテンツID：IPJP019000026

▶ 正式名称	東大寺 大仏殿 大仏 おみぬぐい	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	大仏 おみぬぐい	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年		▶ 分類	風俗
▶ 被写体製作時代	日本史系／平成／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	120人程の僧侶や関係者が、早朝より二月堂の湯屋で身を清め、白装束に藁草履姿で大仏殿に集合、7時より撥遣作法が行われた後、全員でお経を唱え、年に一度の大仏さまの「お身拭い」を始める。現在は毎年行うが、以前は東大寺の住職の任期中に一度行われる程度。その上、大仏殿の参道が砂利道であったため、大仏殿内にはいつてくる砂埃の量も多く、掃除ではかなりの量の埃が集められたという。「お身拭い」が8月7日に日を定めて毎年実施されるようになったのは昭和39年から。その後参道も石畳で舗装され砂埃も減ったので、現在では埃の量そのものは以前よりずいぶん少なくなっている。		



コンテンツID：IPJP019000027

▶ 正式名称	東大寺 大仏殿 八角燈籠（はっかくとうろう） 音声菩薩（おんじょうぼさつ） 横笛	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	八角燈籠 音声菩薩 横笛	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	不詳	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年		▶ 分類	遺物
▶ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 八角燈籠の南西面の横笛を吹く音声菩薩像。東大寺創建当初のもので、再度にわたる兵火にも難をまぬがれた。宝珠・笠・火袋・中台・竿・基壇からなり、火袋の大きいのが特色である。各扉のうち、四面には音声菩薩（おんじょうぼさつ）が、他の四面には雲中を走る四頭の獅子が、それぞれ菱格子の透かし地に浮彫りされている。とりわけ音声菩薩の意匠はすばらしく、しなやかな体つき、楽器を執る腕先と胸のあいだの遠近感、風を受けてなびく天衣など、立体表現が見事に果たされている。なお竿の部分には経典が刻まれている。		



コンテンツID：IPJP019000028

▶ 正式名称	東大寺 大仏殿 八角燈籠（はっかくとうろう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	八角燈籠	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	不詳	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年		▶ 分類	遺物
▶ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 東大寺創建当初のもので、再度にわたる兵火にも難をまぬがれた。宝珠・笠・火袋・中台・竿・基壇からなり、火袋の大きいのが特色である。各扉のうち、四面には音声菩薩（おんじょうぼさつ）が、他の四面には雲中を走る四頭の獅子が、それぞれ菱格子の透かし地に浮彫りされている。とりわけ音声菩薩の意匠はすばらしく、しなやかな体つき、楽器を執る腕先と胸のあいだの遠近感、風を受けてなびく天衣など、立体表現が見事に果たされている。なお竿の部分には経典が刻まれている。		



コンテンツID：IPJP019000029

▶ 正式名称	東大寺 転害門（てがいもん）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	同音異字で手掻門・手貝門。別称*景清門（かげきよもん）*	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	不詳	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	天平宝字六年（762）前後	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	八脚門 平景清 佐保路門		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 三間一戸八脚門 切妻造 本瓦葺。幅16m、奥行8m。その堂々とした姿は、天平創建期の数少ない遺構で、治承四年（1180）の平重衡（たいらのしげひら）による焼討ち、永禄十年（1567）の三好・松永の兵火にも焼け残り現在に伝存する。平城京左京一条南大路（佐保路）に西面して開かれているため佐保路門（さほじもん）と呼ばれた。この門の名称は、東大寺鎮守八幡宮の祭礼・転害会（てがいえ）に際し、この門が御旅所とされることに由来する。また伝説では、平家の武将・悪七兵衛景清（あくしちびょうえかげきよ）が、平家滅亡の後、源頼朝が大仏供養のため奈良まで上ってくるということを聞きつけ、その暗殺を企ててこの門に隠れたということから景清門（かげきよもん）とも呼ばれる。鎌倉時代の初期に大規模な修理が加えられたが、部材の多くは天平のもので、太い柱や広い間口、緩やかな勾配の屋根など、いかにも天平の伽藍を偲ばせる雄大な門である。		



コンテンツID：IPJP019000030

▶ 正式名称	東大寺 南大門（なんだいもん）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	南大門	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	重源上人（ちょうげんしょうにん）	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	正治元年（1199）上棟※竣工ではない	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	大仏様 だいぶつよう 重源 仁王 金剛力士 石獅子		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 五間三戸二重門 入母屋造 本瓦葺。高さ25m、幅28m、奥行10m。鎌倉時代、重源上人による東大寺復興事業の中で再建された。正治元年（1199）上棟し、建仁三年（1203）他の諸堂塔と共に総供養された。南大門には、渡宋経験のある重源上人により南宋（当時）で行われていた建築様式が導入されており、この様式は主に大仏殿や南大門をはじめ東大寺再建事業の中で用いられたことから「大仏様（だいぶつよう）」と呼ばれる。例えば、長い柱を下層から上層まで通して、柱と柱をつなぐには「貫（ぬぎ）」を多用するところや、天井を張らないためこうした架構が露出しているところに大仏様の特徴を見ることができる。門の南正面の左右には運慶・快慶等、慶派仏師により造立された仁王像（金剛力士立像）が安置されている。平成18年10月、『三国仏法伝通縁起（さんごくぶっぽうでんづうえんぎ）』の故事にのっとり「大華嚴寺」の扁額が掲げられた。		



コンテンツID：IPJP019000031

▶ 正式名称	東大寺 南大門（なんだいもん）(現在)	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	南大門(現在)	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者	重源上人（ちょうげんしょうにん）	▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	正治元年（1199）上棟※竣工ではない	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	大仏様 だいぶつよう 重源 仁王 金剛力士 石獅子		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 五間三戸二重門 入母屋造 本瓦葺。高さ25m、幅28m、奥行10m。鎌倉時代、重源上人による東大寺復興事業の中で再建された。正治元年（1199）上棟し、建仁三年（1203）他の諸堂塔と共に総供養された。南大門には、渡宋経験のある重源上人により南宋（当時）で行われていた建築様式が導入されており、この様式は主に大仏殿や南大門をはじめ東大寺再建事業の中で用いられたことから「大仏様（だいぶつよう）」と呼ばれる。例えば、長い柱を下層から上層まで通して、柱と柱をつなぐには「貫（ぬぎ）」を多用するところや、天井を張らないためこうした架構が露出しているところに大仏様の特徴を見ることができる。門の南正面の左右には運慶・快慶等、慶派仏師により造立された仁王像（金剛力士立像）が安置されている。平成18年10月、『三国仏法伝通縁起（さんごくぶっぽうでんぶうえんぎ）』の故事にのっとり「大華嚴寺」の扁額が掲げられた。		



コンテンツID：IPJP019000032

正式名称	東大寺 南大門 金剛力士立像（こんごうりき しりゅうぞう） 仁王 阿形（あぎょう）像	写真タイトル	
通称名称	仁王像（におうぞう）・仁王さん 阿形像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	重源上人・運慶・快慶・湛慶・定覚、他小仏師16名	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	建仁三年（1203）	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	重源 運慶 快慶 慶派 阿形 忞形		
被写体所有者備考	【国宝】 治承4年(1180)の南都焼き打ちのあと、東大寺再建の際、重源上人が南大門に納めるために、とくに念願して造らせたもので、鎌倉時代初頭の建仁3年(1203)に運慶や快慶ら仏師たちによってわずか、69日間で造像されたといわれている巨大像。昭和63年から平成5年にかけての修理の際、2体の金剛力士像の鉢内から重源上人や仏師たちの名前が記された『宝篋印陀羅尼経(ほうきょういんだらにきょう)』など、経巻や文書、それにおびただしい墨書銘が発見された。これらによって、2体が同時進行で造像されたこと、用材は山口県から運ばれてきたことなどがわかった。像高 いずれも840センチ弱。		



コンテンツID：IPJP019000033

正式名称	東大寺 南大門 金剛力士立像（こんごうりき しりゅうぞう） 仁王 阿形（あぎょう）像	写真タイトル	
通称名称	仁王像（におうぞう）・仁王さん 阿形像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	重源上人・運慶・快慶・湛慶・定覚、他小仏師16名	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	建仁三年（1203）	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度	正面 上半身		
キーワード	重源 運慶 快慶 慶派 阿形 吽形		
被写体所有者備考	【国宝】 治承4年(1180)の南都焼き打ちのあと、東大寺再建の際、重源上人が南大門に納めるために、とくに念願して造らせたもので、鎌倉時代初頭の建仁3年(1203)に運慶や快慶ら仏師たちによってわずか、69日間で造像されたといわれている巨大像。昭和63年から平成5年にかけての修理の際、2体の金剛力士像の鉢内から重源上人や仏師たちの名前が記された『宝篋印陀羅尼経(ほうきょういんだらにきょう)』など、経巻や文書、それにおびただしい墨書銘が発見された。これらによって、2体が同時進行で造像されたこと、用材は山口県から運ばれてきたことなどがわかった。像高 いずれも840センチ弱。		



コンテンツID：IPJP019000034

正式名称	東大寺 南大門 金剛力士立像（こんごうりき しりゅうぞう） 仁王 吽形（うんぎょう）像	写真タイトル	
通称名称	仁王像（におうぞう）・仁王さん 吽形像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	重源上人・運慶・快慶・温慶・定覚、他小仏師16名	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	建仁三年（1203）	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	重源 運慶 快慶 慶派 阿形 吽形		
被写体所有者備考	【国宝】 治承4年(1180)の南都焼き打ちのあと、東大寺再建の際、重源上人が南大門に納めるために、とくに念願して造らせたもので、鎌倉時代初頭の建仁3年(1203)に運慶や快慶ら仏師たちによってわずか、69日間で造像されたといわれている巨大像。昭和63年から平成5年にかけての修理の際、2体の金剛力士像の鉢内から重源上人や仏師たちの名前が記された『宝篋印陀羅尼経(ほうきょういんだらにきょう)』など、経巻や文書、それにおびただしい墨書銘が発見された。これらによって、2体が同時進行で造像されたこと、用材は山口県から運ばれてきたことなどがわかった。像高 いずれも840センチ弱。		



コンテンツID：IPJP019000035

正式名称	東大寺 南大門 金剛力士立像（こんごうりき しりゅうぞう） 仁王 吽形（うんぎょう）像	写真タイトル	
通称名称	仁王像（におうぞう）・仁王さん 吽形像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	重源上人・運慶・快慶・温慶・定覚、他小仏師16名	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	建仁三年（1203）	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	重源 運慶 快慶 慶派 阿形 吽形		
被写体所有者備考	【国宝】 治承4年(1180)の南都焼き打ちのあと、東大寺再建の際、重源上人が南大門に納めるために、とくに念願して造らせたもので、鎌倉時代初頭の建仁3年(1203)に運慶や快慶ら仏師たちによってわずか、69日間で造像されたといわれている巨大像。昭和63年から平成5年にかけての修理の際、2体の金剛力士像の鉢内から重源上人や仏師たちの名前が記された『宝篋印陀羅尼経(ほうきょういんだらにきょう)』など、経巻や文書、それにおびただしい墨書銘が発見された。これらによって、2体が同時進行で造像されたこと、用材は山口県から運ばれてきたことなどがわかった。像高 いずれも840センチ弱。		



コンテンツID：IPJP019000036

▶ 正式名称	東大寺 二月堂 修二会（しゅにえ） おたいまつ	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	二月堂 修二会 おたいまつ	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年		▶ 分類	風俗
▶ 被写体製作時代	日本史系／平成／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	お松明は、本来、二月堂に上堂する練行衆の道明かりとして灯されるので、12日の籠松明が有名だが、修二会期間中の3月1日から3月14日に毎日あげられている。12日と14日以外は19時に大鐘がならされ、それを合図に「お松明」が始まる。修二会は、二月堂本尊の十一面観音に対して自らの過ちを懺悔し、国家の安定繁栄と万民の幸福を祈願する十一面悔過（けか）法要である。		



コンテンツID：IPJP019000037

▶ 正式名称	東大寺 二月堂 修二会（しゅにえ）悔過（けか）北座	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	二月堂 修二会 悔過 北座	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年		▶ 分類	風俗
▶ 被写体製作時代	日本史系／平成／－	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考	修二会は、二月堂本尊の十一面観音に対して自らの過ちを懺悔し、国家の安定繁栄と万民の幸福を祈願する十一面悔過（けか）法要で、練行衆（れんぎょうしゅう）と呼ばれる、特に選ばれた僧が執り行う。		



コンテンツID：IPJP019000039

➤ 正式名称	東大寺 法華堂 月光菩薩立像（がっこうぼさ つりゅうぞう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	月光菩薩立像	➤ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
➤ 被写体製作者	不詳	➤ 被写体所有者	東大寺
➤ 被写体製作年	不明	➤ 分類	仏像
➤ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	➤ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考	【国宝】 天平彫刻の代表作。薬師如来の脇侍となる菩薩。塑造。像高206cm。		



コンテンツID：IPJP019000040

➤ 正式名称	東大寺 法華堂 月光菩薩立像（がっこうぼさ つりゅうぞう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	月光菩薩立像	➤ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
➤ 被写体製作者	不詳	➤ 被写体所有者	東大寺
➤ 被写体製作年	不明	➤ 分類	仏像
➤ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	➤ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考	【国宝】 天平彫刻の代表作。薬師如来の脇侍となる菩薩。塑造。像高206cm。		



コンテンツID：IPJP019000041

▶ 正式名称	東大寺 法華堂（ほっけどう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	三月堂	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	天平年間（729-749）※正確な年次は不明	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	金鐘寺 良弁 不空羂索観音 執金剛神 日光 月光 法華会		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 桁行五間 梁行八間 前部入母屋造・後部寄棟造 本瓦葺。幅18m、奥行25m。東大寺の建築の中では最も古く、寺伝では東大寺創建以前にあった金鐘寺（きんしょうじ）の遺構とされる。金鐘寺では天平十二年（740）、良弁（ろうべん：東大寺初代別当）により我が国で始めて華嚴經（けごんきょう）の講説（こうぜつ）が行われている。天平勝宝八年（756）の東大寺山堺四至図（とうだいじさんかいしじず）には「羂索堂（けんさくどう）」とあるように、不空羂索観音を本尊として祀るお堂である。旧暦の三月に法華会（ほっけえ）が行われたことから、「法華堂」「三月堂」とも呼ばれるようになった。元は奈良時代建立になる寄棟（よせむね）造の正堂（しょうどう）に礼堂が軒を接して建つ双堂（ならびどう）形式であったが、鎌倉時代に礼堂が建て替えられ、屋根が一棟にまとめられた。側面から見ると二棟が並び建っていた頃の木樋の名残を見ることができる。堂内には本尊の不空羂索観音をはじめ、日光・月光菩薩といった天平期の乾漆像（かんしつぞう）、塑像（そぞう）が安置され、天平仏の宝庫とも呼ばれる。良弁僧正の念持仏と伝わる秘仏・執金剛神立像は、毎年12月16日の良弁忌（ろうべんぎ）に開扉される。		



コンテンツID：IPJP019000042

▶ 正式名称	東大寺 法華堂（ほっけどう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	三月堂	▶ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
▶ 被写体製作者		▶ 被写体所有者	東大寺
▶ 被写体製作年	天平年間（729-749）※正確な年次は不明	▶ 分類	建築
▶ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	▶ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	金鐘寺 良弁 不空羂索観音 執金剛神 日光 月光 法華会		
▶ 被写体所有者備考	【国宝】 桁行五間 梁行八間 前部入母屋造・後部寄棟造 本瓦葺。幅18m、奥行25m。東大寺の建築の中では最も古く、寺伝では東大寺創建以前にあった金鐘寺（きんしょうじ）の遺構とされる。金鐘寺では天平十二年（740）、良弁（ろうべん：東大寺初代別当）により我が国で始めて華嚴經（けごんきょう）の講説（こうぜつ）が行われている。天平勝宝八年（756）の東大寺山堺四至図（とうだいじさんかいしじず）には「羂索堂（けんさくどう）」とあるように、不空羂索観音を本尊として祀るお堂である。旧暦の三月に法華会（ほっけえ）が行われたことから、「法華堂」「三月堂」とも呼ばれるようになった。元は奈良時代建立になる寄棟（よせむね）造の正堂（しょうどう）に礼堂が軒を接して建つ双堂（ならびどう）形式であったが、鎌倉時代に礼堂が建て替えられ、屋根が一棟にまとめられた。側面から見ると二棟が並び建っていた頃の本堂の名残を見ることができる。堂内には本尊の不空羂索観音をはじめ、日光・月光菩薩といった天平期の乾漆像（かんしつぞう）、塑像（そぞう）が安置され、天平仏の宝庫とも呼ばれる。良弁僧正の念持仏と伝わる秘仏・執金剛神立像は、毎年12月16日の良弁忌（ろうべんぎ）に開扉される。		



コンテンツID：IPJP019000043

正式名称	東大寺 法華堂 執金剛神立像（しつこんごうしんりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	執金剛神立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	不明	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考	【国宝】 本尊不空羂索観音の背後の厨子に北向きに安置され、右手に金剛杵（こんごうしよ、仏敵を追い払う武器）を持ち、目を吊り上げて威嚇する武神像。東大寺の開山である良弁僧正の念持仏であり、良弁の命日の12月16日のみ公開される。塑造。像高173cm。		



コンテンツID：IPJP019000044

正式名称	東大寺 法華堂 執金剛神立像（しつこんごう しんりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	執金剛神立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	不明	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考	【国宝】 本尊不空羂索観音の背後の厨子に北向きに安置され、右手に金剛杵（こんごうしよ、仏敵を追い払う武器）を持ち、目を吊り上げて威嚇する武神像。東大寺の開山である良弁僧正の念持仏であり、良弁の命日の12月16日のみ公開される。塑造。像高173cm。		



コンテンツID：IPJP019000045

➤ 正式名称	東大寺 法華堂 日光菩薩立像（にっこうぼさ つりゅうぞう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	日光菩薩立像	➤ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
➤ 被写体製作者	不詳	➤ 被写体所有者	東大寺
➤ 被写体製作年	不明	➤ 分類	仏像
➤ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	➤ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考	【国宝】 天平彫刻の代表作。薬師如来の脇侍となる菩薩。塑造。像高206cm。（上半身）		



コンテンツID：IPJP019000046

➤ 正式名称	東大寺 法華堂 日光菩薩立像（にっこうぼさ つりゅうぞう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	日光菩薩立像	➤ 著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
➤ 被写体製作者	不詳	➤ 被写体所有者	東大寺
➤ 被写体製作年	不明	➤ 分類	仏像
➤ 被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	➤ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考	【国宝】 天平彫刻の代表作。薬師如来の脇侍となる菩薩。塑造。像高206cm。		



コンテンツID：IPJP019000047

正式名称	東大寺 法華堂 不空羂索観音菩薩立像（ふくうけんさくかんのんぼさつりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	不空羂索観音菩薩立像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	法華堂建立と同時期。正確な年次は不明	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考	【国宝】 法華堂の本尊。法華堂は、不空羂索観音を本尊とするところから古くは羂索堂と呼ばれていたが、毎年3月に法華会が行われたことから、のちに法華堂と呼ばれるようになった。像は、天平文化のきらびやかさを想起させる堂々たる体躯で、悩める人々をどこまでも救いに赴こうとされている。高さ3.6メートル。三眼八臂（額に縦に第3の目があり、8本の腕をもつ）の観音像。乾漆。		



コンテンツID：IPJP019000048

➤ 正式名称	高村光雲作　ちゃぼ	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	ちゃぼ	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光雲	➤ 被写体所有者	敦井美術館
➤ 被写体製作年	明治二十二年	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／明治時代／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000049

正式名称	高村光雲作 猿・三番叟（さる・さんばそう）	写真タイトル	
通称名称	猿・三番叟	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	宮内庁三の丸尚蔵館
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000050

正式名称	高村光雲作 山靈訶護（さんれいかご）	写真タイトル	
通称名称	山靈訶護	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	宮内庁三の丸尚蔵館
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000051

正式名称	高村光雲作 松樹鷹（しょうじゅたか）	写真タイトル	
通称名称	松樹鷹	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	宮内庁三の丸尚蔵館
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000052

正式名称	高村光雲作 鹿（しか）	写真タイトル	
通称名称	鹿	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	宮内庁三の丸尚蔵館
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000053

➤ 正式名称	高村光雲作 座頭（ざとう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	座頭	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光雲	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年		➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000054

正式名称	高村光雲作 団扇に眠る猫（うちわにねむるねこ）	写真タイトル	
通称名称	団扇に眠る猫	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000055

正式名称	高村光雲作 狛（ちん）	写真タイトル	
通称名称	狛	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	敦井美術館
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000056

正式名称	高村光雲作 狸・法師（たぬき・ほうし）	写真タイトル	
通称名称	狸・法師	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	東京芸術大学
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000057

➤ 正式名称	高村光雲作 牛と童子（うしとどうじ）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	牛と童子	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光雲	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年		➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000058

正式名称	高村光雲作 愛染明王（あいぜんみょうおう）	写真タイトル	
通称名称	愛染明王	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000059

正式名称	高村光雲作 楠公銅像（くすのきこうどうぞう）	写真タイトル	
通称名称	楠公銅像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	不明
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000060

➤ 正式名称	高村光雲作 西郷隆盛銅像（さいこうたかもりどうぞう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	西郷隆盛銅像	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光雲	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年		➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	➤ 利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000061

正式名称	高村光雲作 穂と遊ぶ狛（頭部）（まりとあそぶちん（とうぶ））	写真タイトル	
通称名称	穂と遊ぶ狛（頭部）	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000062

正式名称	高村光雲作 毬と遊ぶ狢（まりとあそぶちん）	写真タイトル	
通称名称	毬と遊ぶ狢	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000063

正式名称	高村光雲作 南海観音像（なんかいかんのんぞう）	写真タイトル	
通称名称	南海観音像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000064

▶ 正式名称	高村光雲作 聖観音像（しょうかんのんぞう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	聖観音像	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光雲	▶ 被写体所有者	個人
▶ 被写体製作年		▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード			
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000065

➤ 正式名称	高村光雲作 踊る寿老（おどるじゅろう）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	踊る寿老	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光雲	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年		➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000066

正式名称	高村光雲作 聖観音像（彩色）（しょうかんのんぞう（さいしき））	写真タイトル	
通称名称	聖観音像（彩色）	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000067

➤ 正式名称	高村光雲作 老猿（ろうえん）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	老猿	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光雲	➤ 被写体所有者	東京国立博物館
➤ 被写体製作年		➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000068

正式名称	高村光雲作 郭子儀（かくしぎ）	写真タイトル	
通称名称	郭子儀	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000069

正式名称	高村光雲作 大聖像（たいせいぞう）	写真タイトル	
通称名称	大聖像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000070

➤ 正式名称	高村光雲作 月宮殿（げっきゅうでん）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	月宮殿	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光雲	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年		➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード			
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000071

正式名称	高村光雲作 翁舞（おきなまい）	写真タイトル	
通称名称	翁舞	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000072

正式名称	高村光雲作 阿弥陀如来像（あみだによらいぞう）	写真タイトル	
通称名称	阿弥陀如来像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	不明
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000073

正式名称	高村光雲作 達磨立像（だるまりゅうぞう）	写真タイトル	
通称名称	達磨立像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	個人
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000074

正式名称	高村光雲作 鐘馗大臣像（しょうきだいじんぞう）	写真タイトル	
通称名称	鐘馗大臣像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光雲	被写体所有者	不明
被写体製作年		分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード			
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000075

➤ 正式名称	高村光太郎作 楓（かえで）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	楓	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	東京芸術大学
➤ 被写体製作年	1894年 高村光太郎作（11才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000076

▶ 正式名称	高村光太郎作 連雀（薄肉彫）（れんじゃく）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	連雀 （薄肉彫）	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	個人
▶ 被写体製作年	1895年 高村光太郎作（12才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000077

▶ 正式名称	高村光太郎作 青い葡萄（あおいぶどう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	青い葡萄	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	個人
▶ 被写体製作年	1896年 高村光太郎作（13才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000078

➤ 正式名称	高村光太郎作 ねずみ	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	ねずみ	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年	1896年 高村光太郎作（13才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000079

➤ 正式名称	高村光太郎作 羅漢 1（手板）（らかん）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	羅漢 1 （手板）	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	不明
➤ 被写体製作年	1898年 高村光太郎彫刻科 1 年（15才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000080

正式名称	高村光太郎作 羅漢 2（手板）（らかん）	写真タイトル	
通称名称	羅漢 2 （手板）	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	不明
被写体製作年	1898年 高村光太郎彫刻科 1 年（15才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000081

正式名称	高村光太郎作 羅漢 3（手板）（らかん）	写真タイトル	
通称名称	羅漢 3 （手板）	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	不明
被写体製作年	1898年 高村光太郎彫刻科1年（15才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000082

正式名称	高村光太郎作 兎（うさぎ）	写真タイトル	
通称名称	兎	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	東京国立近代美術館
被写体製作年	1899年 高村光太郎作（16才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000083

正式名称	高村光太郎作 高村兼松（たかむらかねまつ）	写真タイトル	
通称名称	高村兼松	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1900年 高村光太郎作（17才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000084

正式名称	高村光太郎作 獅子吼（ししこう）	写真タイトル	
通称名称	獅子吼	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	東京芸術大学
被写体製作年	1902年 高村光太郎卒業制作（19才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000085

▶ 正式名称	高村光太郎作 解剖台の上の紅葉山人（かいぼうだいのうえのもみじさんじん）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	解剖台の上の紅葉山人	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	個人
▶ 被写体製作年	1903年 高村光太郎作（20才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000086

正式名称	高村光太郎作 薄令児 頭部（はくれいじ）	写真タイトル	
通称名称	薄令児 頭部	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1905年 高村光太郎作（22才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000087

➤ 正式名称	高村光太郎作 虎の首（とらのくび）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	虎の首	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年	1905年 高村光太郎作（22才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000088

➤ 正式名称	高村光太郎作 鶏の首（にわたりのくび）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	鶏の首	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年	1905年 高村光太郎作（22才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000089

正式名称	高村光太郎作 猪（いのしし）	写真タイトル	
通称名称	猪	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1905年 高村光太郎作（22才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000090

正式名称	高村光太郎作 高村光雲還暦記念像（たかむらこううんかんれぎきねんぞう）	写真タイトル	
通称名称	高村光雲還暦記念像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1911年 高村光太郎作（28才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000091

▶ 正式名称	高村光太郎作 松方正義の首（まつかたまさよしのくび）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	松方正義の首	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	個人
▶ 被写体製作年	1913年 高村光太郎作（30才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000092

正式名称	高村光太郎作 園田孝吉メダル（そのだたかよしめだる）	写真タイトル	
通称名称	園田孝吉メダル	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1915年 高村光太郎作（32才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000093

正式名称	高村光太郎作 園田孝吉胸像（そのだたかよしきょうぞう）	写真タイトル	
通称名称	園田孝吉胸像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	鹿児島黎明館
被写体製作年	1915年 高村光太郎作（32才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000094

正式名称	高村光太郎作 裸婦坐像（らふぞう）	写真タイトル	
通称名称	裸婦坐像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	京都国立近代美術館
被写体製作年	1917年 高村光太郎作（34才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000095

正式名称	高村光太郎作 手 （ブロンズ）（て）	写真タイトル	
通称名称	手 （ブロンズ）	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	東京国立近代美術館
被写体製作年	1918年 高村光太郎作（35才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000096

▶ 正式名称	高村光太郎作　ピアノ弾く手（びあのひくて）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	ピアノ弾く手	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	個人
▶ 被写体製作年	1918年　高村光太郎作（35才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000097

正式名称	高村光太郎作 腕（うで）	写真タイトル	
通称名称	腕	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	大原美術館
被写体製作年	1918年 高村光太郎作（35才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000098

正式名称	高村光太郎作 医聖ヒポクラテス像（いせいひぼくらてすぞう）	写真タイトル	
通称名称	医聖ヒポクラテス像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1918年 高村光太郎作（35才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000099

正式名称	高村光太郎作 蟬（せみ）	写真タイトル	
通称名称	蟬	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1924年 高村光太郎作（41才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考	(H：2.3cm×7.2cm)		



コンテンツID：IPJP019000100

➤ 正式名称	高村光太郎作 石榴（ざくろ）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	石榴	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年	1924年 高村光太郎作（41才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000101

正式名称	高村光太郎作 うそ鳥（うそちょう）	写真タイトル	
通称名称	うそ鳥	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1925年 高村光太郎作（42才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000102

▶ 正式名称	高村光太郎作 老人の首（ろうじんのくび）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	老人の首	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	東京国立博物館
▶ 被写体製作年	1925年 高村光太郎作（42才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000103

➤ 正式名称	高村光太郎作 鮭（なまず）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	鮭	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年	1925年 高村光太郎作（42才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000104

➤ 正式名称	高村光太郎作 鮭（なまず）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	鮭	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	メナード美術館
➤ 被写体製作年	1926年 高村光太郎作（43才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系／－／－	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000105

正式名称	高村光太郎作 桃（もも）	写真タイトル	
通称名称	桃	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	不明
被写体製作年	1927年 高村光太郎作（44才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



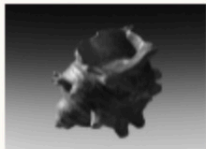
コンテンツID：IPJP019000106

正式名称	高村光太郎作 白文鳥（しろぶんちょう）	写真タイトル	
通称名称	白文鳥	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1931年 高村光太郎作（48才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000107

▶ 正式名称	高村光太郎作 大倉喜八郎の首（おおくらきはちろうのくび）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	大倉喜八郎の首	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	個人
▶ 被写体製作年	1926年 高村光太郎作（43才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000108

➤ 正式名称	高村光太郎作 栄螺（さざえ）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	栄螺	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	メナード美術館
➤ 被写体製作年	1930年 高村光太郎作（47才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000109

▶ 正式名称	高村光太郎作 黒田清輝胸像（くろだせいききょうぞう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	黒田清輝胸像	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	東京芸術大学
▶ 被写体製作年	1932年 高村光太郎作（49才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000110

正式名称	高村光太郎作 種播く人（たねまくひと）	写真タイトル	
通称名称	種播く人	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	岩波書店
被写体製作年	1933年 高村光太郎作（50才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000111

正式名称	高村光太郎作 嘉納治五郎像（かのうじごろうぞう）	写真タイトル	
通称名称	嘉納治五郎像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1934年 高村光太郎作（51才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系／－／－	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000112

▶ 正式名称	高村光太郎作 高村光雲胸像（たかむらこう うんきょうぞう）	▶ 写真タイトル	
▶ 通称名称	高村光雲胸像	▶ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
▶ 被写体製作者	高村光太郎	▶ 被写体所有者	東京芸術大学
▶ 被写体製作年	1935年 高村光太郎作（52才）	▶ 分類	文物
▶ 被写体製作時代	日本史系／－／－	▶ 利用区分	
▶ 撮影年月日			
▶ 撮影角度			
▶ キーワード	高村光太郎作		
▶ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000113

➤ 正式名称	高村光太郎作 野兎の首（のうさぎのくび）	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	野兎の首	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年	昭和21～27年 高村光太郎作	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			





コンテンツID：IPJP019000114

➤ 正式名称	高村光太郎作 十和田湖畔 裸婦像の為の手 (とわだこはん らふぞうのためのて)	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	十和田湖畔 裸婦像の為の手	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	個人
➤ 被写体製作年	1952年 高村光太郎作 (69才)	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000115

➤ 正式名称	高村光太郎作 みちのく	➤ 写真タイトル	
➤ 通称名称	みちのく	➤ 著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
➤ 被写体製作者	高村光太郎	➤ 被写体所有者	不明
➤ 被写体製作年	1953年 高村光太郎作（70才）	➤ 分類	文物
➤ 被写体製作時代	日本史系 / - / -	➤ 利用区分	
➤ 撮影年月日			
➤ 撮影角度			
➤ キーワード	高村光太郎作		
➤ 被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000116

正式名称	高村光太郎作 倉田雲平胸像（くらたうんぺいぎょうぞう）	写真タイトル	
通称名称	倉田雲平胸像	著作権ID/名前	HJPI320200000498 高村規
被写体製作者	高村光太郎	被写体所有者	個人
被写体製作年	1954年 高村光太郎絶作（71才）	分類	文物
被写体製作時代	日本史系 / - / -	利用区分	
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	高村光太郎作		
被写体所有者備考			



コンテンツID：IPJP019000124

正式名称	東大寺 八幡殿 僧形八幡神座像（そうぎょうはちまんしんざぞう）	写真タイトル	
通称名称	僧形八幡神座像	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	快慶	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	建仁元年（1201）	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／鎌倉時代／鎌倉文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	僧形八幡神座像		
被写体所有者備考	【国宝】 勸進所・八幡殿の本尊。快慶作。吊り上った眉目、口辺の皺の刻み方など、その表情には生気がた よい、写実的でしかも神威を備えた姿が表現されている。秘仏特別開扉10月5日。木造。高さ87.1cm。		



コンテンツID：IPJP019000125

正式名称	東大寺 法華堂 不空牽索観音菩薩立像（ふくうけんさくかんのんぼさつりゅうぞう） 脇侍なし	写真タイトル	
通称名称	不空牽索観音菩薩立像（単独）	著作権ID/名前	HJPI320100000216 植田英介
被写体製作者	不詳	被写体所有者	東大寺
被写体製作年	法華堂建立と同時期。正確な年次は不明	分類	仏像
被写体製作時代	日本史系／奈良時代／天平文化	利用区分	授業での利用 入学試験での利用 入学試験問題の二次利用(自校) 単年度で更新される教材での利用 複数年度に渡って利用可能な教材での利用 模擬試験での利用
撮影年月日			
撮影角度			
キーワード	不空牽索観音菩薩立像		
被写体所有者備考	【国宝】 法華堂の本尊。法華堂は、不空羂索観音を本尊とするところから古くは羂索堂と呼ばれていたが、毎年3月に法華会が行われたことから、のちに法華堂と呼ばれるようになった。像は、天平文化のきらびやかさを想起させる堂々たる体躯で、悩める人々をどこまでも救いに赴こうとされている。高さ3.6メートル。三眼八臂（額に縦に第3の目があり、8本の腕をもつ）の観音像。乾漆。		